

その1

# 女子大生と画家

きく人

向井修二

〈画家〉



“とかくこの頃の女子大生は、学生時代をただ人生の時間稼ぎのように思っている”と私はつねづね考え、このプランに大変興味をもって出席したけれど、三人寄ればかしまひはずの女の子たちは大変おとなしく可愛らしかった。私が期待していたような変な女子大生観などはいっぺんにふっ飛んでしまい、話し出すのに少し戸惑ったぐらいだ。その時の顔が右の写真であるが、これを横から「イヤ、イヤ。その顔はうつろな顔だよ」と誰かがひやかした。セネレーションの違いを彼女達に感じた私は、ごく可愛らしい質問で、淡々としたインタビューになったのが残念だった。

正田さんは黄色のセーターに皮のスカート、今泉さんはピンクと白の変り織りのスーツ、深津さんは黄色のラフなスーツに白のブーツと、それぞれ個性のあるイカス女の子だけれど、話してみると、やはり学生特有の平均的小世界に生きているのを感じた。

★色

正田 みんな好きよ。

今泉 最近赤い色がだんだん好きになったわ。

深津 わたし、真赤よ。

★おしゃれ

正田 全体のバランスよりも、やっぱり色だわ。

今泉 ここ二年位にだんだん派手な色を着るようになったの。

深津 最近好みが幼稚になっていくみたい。何か漫画に出てくるような服ばかり着るようになったわ。

★ショッピン

正田 まずお友達と一緒に。それからスポンサー（親）と一緒に。元町の方がシャレてるみたい。

深津 気に入ったらその場で買うわ。飽きたら友達にあげてしまう。

★ツイギ

今泉 現実ばなれしているのがいいのかしら。

★脚

正田 細い足の方の悩みはわかりません。

★ボーイフレンド

正田 恋人もボーイフレンドもいません。だけどフレンドボーイ（男性を意識しないで対等に喋れる人）というのはいっぱいいます。

今泉 いる。フレンドボーイは女子大ですからないけど、ボーイフレンドはいっぱいいるわ。

深津 いない。でも恋人はいいるわ。

★好きな俳優

正田 アンソニー・パーキンス。観るだけならアラン・ドロン。

今泉 私はグレゴリー・ペック。

深津 私もグレゴリー・ペックのような目のきれいなやさしそうな感じの人。

深津美保子さん (21才)

甲南大学 2年



今泉 淳子さん (21才)

神戸女学院大学 3年



正田喜美子さん (20才)

関西学院大学 2年



★理想の男性

正田 抱擁力。細かいことをいちいち私に相談するよう  
な人はイヤ。どんどん引っ張っていつてくれるよ  
うな人がいいわ。

今泉 抱擁力があって、私がいくらわめいてもその人の  
ところから逃げられないような、精神的に大きな  
支えになってくれるような人。

深津 経済的に安定していて、ケンカ友達みたいで、抱  
擁力のある人。年令の差は関係なし。

★サラリーマン

正田 サラリーマン的な人はイヤ。

今泉 私もそうだけど、仕事に信念を持っていてイヤ味  
つたらしくない男性。

深津 私達とは別の世界の人。

★年令

正田 気にするし、年をとったら損するみたい。

今泉 気がついたらはたちになっていた。

深津 気にする、気にする。

★スポーツ

正田 バスケケットボール。

今泉 ゴルフ。

深津 私はしないわ。

★お酒

正田 雰囲気はすごく好き。

今泉 好きなんですけどビール・アレルギーなんです。

深津 何でも飲めつていわれたら飲むわ。

★大切にしている物

正田 日記

今泉 自分で作ったぬいぐるみ。

深津 思い出のあるレコード。

★ハブニング

正田 絵の具をぶつけ合ったりして一人でイキがついて  
いるという感じ。

今泉 変なこととしてショーぶってるんじゃない？

★画家のイメージ

正田 時間に不規則で好きな仕事をしてすごく幸せな方  
友達にあんた気を付けなさいよといわれる感じ。



★神戸肉の鉄板グリル★

# 新年会、クラス会、ご宴会

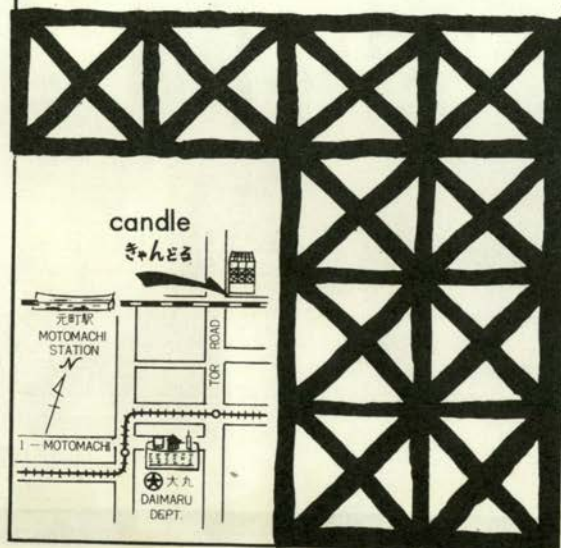
5人様～50人様

バター焼 定食 ￥650ヨリ  
鉄板焼

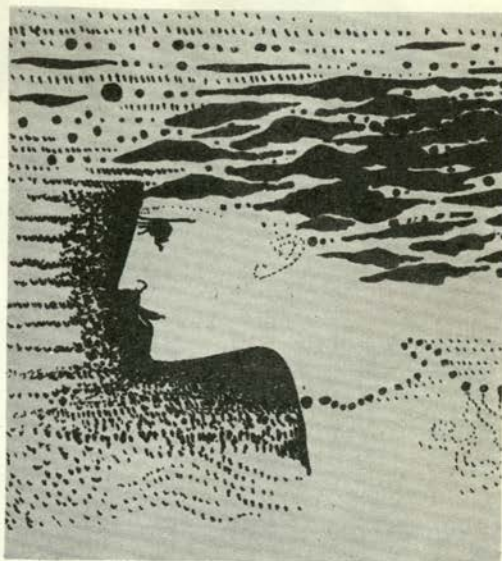
サービス期間中生ビール中ジョッキ一杯付

## きゃんどる

GRILL TEL (33) 1183



1968  
*A Happy New Year*



CLUB

## 落

清水 よし子

生田区下山手通2丁目 TEL 39-1515

☆☆☆☆☆☆

謹 賀 新 年

☆☆☆☆☆☆☆☆



写真は、昭和42年11月8日にスカイサントリー9階で開かれた  
『42年度阪神タイガース選手激励会およびファンの集いの会』



飲みほうだい (サントリー純生ビール) + 食べほうだい! <北欧風ヴァイキング料理> 1,200円<飲食税120円別>



なごやかな  
ムード  
すばらしい  
眺望!

ビヤレストラン  
**スカイサントリー**  
三宮交通センタービル9階 TEL ㉿3705~6





### OCB 加盟店

年中無休

坂上 太佳子

神戸市生田区中山手通1丁目110

PHONE <33> 5543・7831

こんにちはノブ\*です  
ことしめかわいがってね



### “MY PACE IN PLAIN WAY”

〈ノブ\*クラブ〉は、洋酒とお食事のクラブです

営業時間PM5:00~AM2:00

## Nobu\*Club

ノブ\*クラブ(三輪ノブ映)=ノブ興業株式会社チェーン  
神戸市生田区北長狭通り1丁目41 生田新道

〈チェリービル3F〉TEL <39> 2173

姉妹店 お茶漬の店“宮城”同様可愛がって下さいませ

# 神戸百店会だより

## ★ムラタ真珠本社へ

サンジエゴ親善使節団  
来社

ムラタ真珠K.K.は、アメリカのサンジエゴへ真珠のPRをかねて日本村を三年前に設け、海女の実演や邦舞ショー、茶席などを開いて日本文化の紹介を続けて、避暑地の人気を集めている。

この程、サンジエゴ市が横浜市と姉妹提携十周年を記念して、親善使節団が来日。これを機に日本村でおなじみ深い神戸の村田真珠本社（山本通六丁目）へ、使節団が京都など関西旅行の足をのばして、十月二十六日立寄った。

使節団一行（30名）は神戸市と神戸商工会議所へ出向



出迎える手前は村田はま社長



村田本社のガーデンパーティー

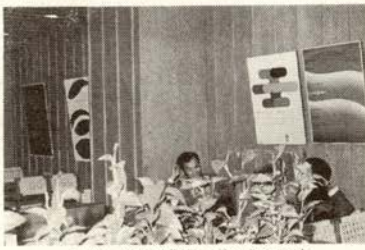
いた後、村田真珠の村田はま社長、村田登志子重役、中村文彦重役のほか振袖姿の女子社員を迎えられ旧交を暖めた。

歓迎会パーティーは本社の港をのぞむ芝生の日本庭園で開かれ、神戸市からは有岡助役、菊池経済局長、また、田中寛次神戸新聞社長、安倍オリエンタルホテル社長、佐谷商議所専務理事、土井神戸市婦人協議会会長など百名にミズ神戸のお嬢さんたちが花をそえて親善パーティーがなごやかに開かれた。余興にサンジエゴの邦舞ショーで人気ものだった花柳芳恵一子さん、村田真理子さんの民謡と花隈ゲーシャガールズの美しい民謡に盛んな拍手が送

られ、また天ぶら、焼鳥、灘の酒を味わって、真珠をおみやげに、日本ムードをたっぷり楽しんだ。

★風月堂さんちか茶寮で津高和一、田中一光氏のユニークな作品展示

ラジオ関西サテライトスタジオ前には、風月堂のさんちか茶寮は、和風喫茶で人気を呼んでいるが、壁面を利用して風月堂独自の企画で、9月1日オープンから2カ月は津高和一氏の作品を展示。また引きつづいて11月1日からは、神戸労音のポスターなどで神戸っ子になじみ深いデザイン



田中一光氏の作品が飾られた店内

田中一光（東京在住）氏のデザイン作品、また労音のポスター、産経能のポスターなど、氏のシャープな作品を展示して話題を呼んだ。田中一光氏の作品は12月末まで展示され新年からはまた、ユニークな作品展示で神戸っ子の眼を楽しませるそうだ。

## ショップ・トビックス

★田崎真珠では、十一月二十五日の二日間、オリエンタルホテル二階の間・竹の間に、恒例の「新作展示と即売会」を「メリー・重富創作展」とともに開催しました。恒例の「オリエンタル引きお買得品コーナー」も設けられ大盛況でした。

★とんかつ武蔵では、セントラル街が新しく七階建てのビルになって十二月二日開店しました。一階から五階までがお店ですが、二階・三階はテーブルの部屋、四階・五階はお座敷で、五階は外人向けの部屋になっています。皆さま一度お出かけ下さい。

★十二月一日・二日の両日、三宮ビル二階においてクリスマスパーティーが催されました。この日は、「みよしや」「元町バザー」「ヨシオカ」「スキヤ」「渡辺」「タジマ」「オカダ」「エスターニートン」「シラサ」の各店が集り、連日「この日こそ」と押し

合ったお客さまで大賑わいでした。★真珠・毛皮・舶来婦人服装の店「ムラタ」では十二月六日・七日の両日、大阪ロイヤルホテル二階の間を会場に、真珠・毛皮・舶来婦人服装雑貨の特別展示会を開催しました。同時にミニの女王マリー・クワントの新作を展示し、若い魅力を楽しみました。

★センター街の「ファミリア」が十一月二十九日、「サントアピル」一階に新築開店しました。店内の照明は七五〇ルクスで明るくお子連れでもゆったりと買物をしていただけるよう広く楽しいお店です。オープン台やハンガーも多くなり、よりお求めやすくなりました。ぜひ一度どうぞ。

★「本高砂屋」では十二月十五日阪急三宮駅西口と和風喫茶「杉」を開店しました。和菓子、お茶、おしるこ、おぜんざいなど純日本風のものをおいたしやれた、一風変わったお店です。おしやべりに、待ち合わせにご利用下さい。





★「一〇〇年の詩集」兵庫・神戸詩人の歩み」刊行を記念して「一〇〇年の詩集」開かる

文化都市神戸で最も多くメンバーを有する詩人の仲間が一年前から編集に取り組んでいた「一〇〇年の詩集」兵庫・神戸詩人の歩み（二九〇ページ、五五〇円）がこのほど刊行。それ



100年の詩集デーに集った神戸の詩人たち

を記念して即売と交歓会「一〇〇年の詩集デー」がさる十一月二十一日、午前十一時から午後九時まで、三宮センター街東入口にあるミヤワキビル5階の市民同友会ホールで開かれた。この日、神戸の詩人たち

のほとんどが顔を見せ、報道関係者もかけつけてなかなか一日をすごした。刊行した「一〇〇年の詩集」兵庫・神戸詩人の歩み」は詩の同人誌「蜘蛛」の編集グループである。中村隆、君本昌久、伊勢田史郎、安水稔和谷氏の手によるもので、出版元は日東館。

明治・大正・昭和戦前・昭和戦後と四期に分かれており、神戸における六十五人の詩人たちの作品で構成されている。現在までまったく未公開であって、現在親しまれている讃美歌の元であるといわれ、私立神戸女学院で大切に保存されている「組合神戸教会讃美歌」がはじめて公開されており、三木露風、富田碎花、竹中郁、足立

巻一氏など全国的に有名な詩人の作品も含まれている。単に神戸詩人の作品集だけににとどまらず、詩風の変遷、時代の流れも適確に編集されている。

編集にあたったメンバーの一人、君本昌久氏の話で

は作品および詩人の略歴が一番苦労したことで、調べていくうちにいろんなエピソードにも出くわしたそう。たとえは略歴では、詩人という性格柄、不明とする者が多く、昭和期に入ってから三人もの詩人が交通事故で死亡していることも判明し、激動する社会情勢の影響もよくわかる。ともかく詩の愛好者だけでなく一般の神戸っ子にも必携書である。

# ★ウルグアイ領事館一時閉鎖さる

神戸ですっかりおなじみになっていたウルグアイ領事館が、十一月十五日で一時間閉鎖された。これは領事のVictor Luis Caoさん（39）が休暇をとって本国に帰ったが、その間約十ヶ月の後任が決まらなかったため一時閉鎖という形をやむなくとったもの。

領事は一九六二年八月に



日本に名残りを惜しむ領事

## 誕生日 ありがとう



兵庫県に発祥した「誕生日ありがとう運動」は今や大きな輪となつて全国各地にひろがりつつあります。この運動は三〇〇万人の「精神薄弱児（著）」に正しい理解と愛情を「をモッてる」心身ともに健康に恵まれている私たちが、感謝の気持ちをこめて毎年やって来る誕生日を機会に献金をし、精神薄弱児（著）にあたたい思いやりの心をかよわせようというものです。発足して二年八月月の間に、数知れない善意の方たちに支えられ助まされて来ました。そして今後はいより多くの方達にご協力をいただいて、愛の輪をいっそう大きくひろげたいと思つてゐます。この運動はボランティア（自発的奉仕者）活動によって推進されていますが、昨年十月二十九日には大阪・神戸両市事務局ボランティアの親睦を目的とした合同ハイキングが行われました。また、ボランティア協会兵庫支部の主催でボランティア研修会が十月より発足し、十二月には「ボランティア活動の問題点」ビュローへの期待」という議題をもつて行なわれました。このようなボランティアの活動を中心に、学生・OL・サラリーマン・主婦など多くの協力者を得ていますが、より多くの方の正しい理解を得るために本部では努力しています。なお運動本部では運動のしおりを入れる箱を五十個作り、医院・病院・理髪店などの待合所に設置していますので、世間一般の方に読んでいただきたいと思つてゐます。今後共、一人でも多くの方々の正しい理解と愛情がはぐくまれますようご協力を願ひします。★この運動への連絡は神戸市生田区前原町一の一神戸市立室内小学校（TEL 69）〇九一七・〇九一八

ら外務省で働くと同時に労働大学の英語の教師もするという。

神戸の印象はと聞くと「ウルグアイの港町、モンテビデオと気候や感じがよく似ています。それに日本の女性はステキ。大好きです」と上手な日本語で答えてくれた。

約十カ月の休暇が終っても、再びCao領事が日本に来るかどうかかわからないだけに、エスペラント語の生徒や多勢の関係者達は船内で領事と別れを惜しみ、十七日午後四時出航のルイス号で帰途に着いた領事を見送った。

★メキシコ暮しの中西画伯 毎日TVで放映される



メキシコでの中西画伯(テレビより)

デリオを行く」のタイトルで中西画伯夫妻のメキシコ・フタタンでの生活が編集、放映された。ヒゲの中西画伯のメキシコでの暮しは、画伯の持味にびったり

でメキシコ人と見違えそう人間的生活を芸術がどこまで表現出来るか、ほんものは何かを見出そうと夫妻は懸命だ。久しぶりに尊顔を観賞なさった方々も多いと思うが、健在な写真家をテレビから写したので紹介する。(現住所 (A.P.T. 3B) 158W. 44th NEW YORK 1006 N.Y. U.S.A.)

★町角に新しい案内標識が お目見え



新しくお目見えした道路標識

が お目見えしたのに お気づきだろうか。

この標識は神戸市土木局道路部補修課が建てたもので高さ二・五〇メートル。道路標識はうすグリーン、著名地点名称標識は色で日本字と英字で書かれたハイカラ神戸にふさわしいしやれたものの。全国的にはすでに建てられてはいる同じものだが神戸でははじめて。

街路名称標識はトア・ロード、フラワロード、京町通、大開通、神若通、花限通など二〇本、著名地点案内標識は相楽園、大竜寺高山植物園など十本、いい名称があればどんどんつくりたいと話している。

★異人館の作品展開かる

神戸に点在する異人館を題材にした絵の個展が、十一月十六日から二十一日の間、さんちかタウンの三菱ギャラリー開かれた。描いた人は神戸市立宮本小学校の図工科の教諭、徳永卓磨さん(28才)で展示された作品は、デッサン十六点、油絵二点。徳永さんは純粹の神戸っ子で、異人館を描



三菱ギャラリー作品前での徳永さん

きはじめてのは高校の時から。作品はもう五、六十点になっている。

異人館に興味をもったのは、建物が日本館でなくそうかといって、いわゆる洋館でもない、その二つのミックスした点で、とくに板べいとよろい窓にひかれるという。

休日をはとんど制作に費しているというだけに、異人館のきれいな見える時間、天気、季節などを知り尽して描かれた「ヘルマン邸」「風見の館」「しゃちほこのある家」「北野通り」などの作品には、神戸っ子

★ドライブ・メモ

川口陽之(自動車評論家)

●日本には、お正月に「おシメ」を車につける習慣がある。その年一年間の無事をいのって、フロントガラスに「シメナワ」を飾るのである。お正月の交通事故も、案外多いが、「おシメ」をつけた車は殆んど事故を、やっけない。また、違反するものも少ない。というところは交通安全いっばんの話である。車の「おシメ」はそれほど有効であるのに、つけていない車も相当ある。日本に住んでいるアメリカ人は、お正月にこの「おシメ」をつけるのを楽しみにしている。しかも、その理由を知って、たいそう感心している。外人さても、一年間の安全をねがって、くっつける「おシメ」を日本のマイカー族は、全員がつけて、この一年間の事故をうんとへらしめてほしい。そういえば、団地の住宅には、神様も仏だんもない家庭がある。こんな家の人ほど事故をおこしやすいようである。

●今冬は、雪が多いそうである。神鍋、鉢伏、戸倉などのスキー場には、万全の準備をしている。スキーに車で行く場合、タイヤ・チェーンは、絶対に欠かせないが、タイヤ・チェーンの着脱にはちょっとした要領がいるので、はじめての人は、出発前に、一度は練習をしておくことである。チェーンをまいて、雪のぼり坂では、後輪がスリッパして、尻ふりダンスをする。リュックサックや、スキーぐつなど重たいものはすべて、車リヤートランクにおしこんで、車にすなわねと重量をかけるようにすることが大切である。それでもスリッパするときは、前後座席は、運転者一人だけにのぼることだ。三人位つめこんでのぼることだ。アベックの場合でも、雪の坂道は、恋人の間はず、後部座席に移すことを忘れないように。



の目を感じられたが、徳永さんは「学生時代を過ごした金沢が、古いものを大切にしようとする余裕があるのに比べると、神戸は人為的にそれを壊している人達だ」とちよびり残念そうに語っていた。

### ★東急百貨店本店が誕生

神戸のお店も六店進出  
東急百貨店本店が東京・渋谷に完成し、十一月一日より営業を開始した。これは延面積四二、五八〇平方メートル、地上八階、地下三階塔屋三階という規模の近代の様式の百貨店である。今まで渋谷駅前であった本店は、東横店と改称。新しい本店は、渋谷駅の「忠犬ハチ公」の像のところに、一〇〇坪先の榮通りに、そのモダンな姿を見せている。



東急本店の6階メンズストリート

★神戸市成人お祝いの会に  
大阪フィルのコンサート  
神戸市と神戸教育委員会では、あすの「大神戸」を支える源動力「新成人」のお祝いの会を、一九六八年一月十五日の成人の日開催する。

当日は、午前八時開場、九時開演で、場所は市立中央体育館。参加申込みは、昭和二十三年中に出生の神戸市民に限られる。申込方法は、往復ハガキに住所、氏名、生年月日、職業を明記（復片にも必ず住所、氏名を明記のこと）のうえ、神戸市教育委員会教育課（生田区加納町六ノ七）あて申込みのこと。折返し入場整理券が送られます。ただし締切りは一月八日（当日消印有効）で先着五千名に限り招待される。

### 花時計



### 神戸文化のビジョン

文化不毛の地、神戸という言葉がある。この言葉をめぐっていろいろな論議がわいた。文化人も相集って、神戸の文化を進める会などもたれたし、兵庫県の美術館建設

についても文化運動が展開され、その稔りもあった。——文化不毛という言葉はもうそろそろ返上してよさそうである。文化不毛という言葉とは文化施設が少ないということに繋がっている。

神戸市の文化度は全国的にみて非常に高度であって、さすがに国際都市らしい世界的スケールを誇っている。だから文化不毛という言葉が誤解を生んで悩まされる。

神戸の都市文化のビジ

ョンをはやくうちたてて国際都市の文化にふさわしい施設を市民の衆智をあつめてこしらえるべきだと考える。山あり海のある港町だから衆智をあつめればきつといいものが出来るだろう。神戸の文化度は高いのだからいい加減なものはやめてしまつて、ユニークなものと考え創らないと市民と遊離してしまうこと忘れてはならない。

△Y△

### ★KOBEムービーコーナー

#### 「危険な旅路」

かつては、カリビアの楽園として栄えたハイチも、共和国とは名ばかりで、終身大統領デュバリエの独裁のもと、彼の秘密警察が暴威をほしいままにし、今は訪れる人もない恐怖の地と化していた。

このような物情騒然たるハイチを背景に、偶然めぐり会った一群の男女がおりなす、夢と、怒りと暴力と、決断の烈しい多彩なドラマであり、また、互いに求め合いながら結ばれ得ない、悲痛な不倫の恋の物語。

監督が「ベケット」などのピーター・グリーンビル。



主演は、「予期せぬ出来事」「バージニア・ウルフなんかこわくない」「ジャジャ馬ならし」など、いよいよ共演に油がのつて来たエリザベス・テイラー、リチャード・バートンの他、アレック・ギネス、ピーター・ユースティノフ、ポール・フオード、リリアン・ギッシュ、グロリア・フォスターはじめ、ニューヨークの黒人舞台俳優たちが好演している。

△MGM映画配給、二時間三十分、十二月三十日より新聞会館大劇場にてロードショー公開

リンゴ酢と蜂蜜で  
腕をふるった  
新しい「味」  
このおいしさが  
美容と健康にプラスします

神戸三宮生田ノ社ノ西

鯛の又半

電話・三の宮 ㊿ 0935



新しい年に  
新しい人生

新しい御料理

明るい

温かい

お座敷で

新年宴会を

当赤坂で

元旦………!!

料亭

赤坂

黒崎好子

(御一報直に参上致します。)

神戸中山手四 TEL ㊿ 7836・7846





# 非惡心童 物語

足立巻一  
え・津高和一

はくたちは「惡童」ではなかった。  
しかし「善童」でもなかった。

4

ドンパン パチパチ

ドーンと鳴って地べたを蹴り

中空でバーンとアタビをするのは

ドンパンだ。

かぎりないおしゃべりをするのは

パチパチだ。

そいつを聞きとめているのは

ぼくひとりだ。

鳥だってまだ知りはしない。

(昭和三十八年「ドンパン パチパチ」から)

ぼくの正月の記憶は、神戸から始まっている。

神戸に漂着したのは、大正十一年、満九歳のときである。ふしぎなことに、それまでの正月の記憶はまったくない。

小学校の一年までは東京にいた。その翌年は長崎に住んだ。だから、東京と長崎の正月の記憶が残っていないければならないはずだが、それが無い。かすかな影のようなものさえもないのである。

神戸に移ったのは、四月の第一学期はじめてだったから、

正月の記憶はその翌年、大正十二年が最初ということになる。関東大震災の翌年にあたる。

ぼくを引き取って養ってくれた伯父の家は、生田神社の東門筋、下山手通一丁目十九の八にあった。市電中山手一丁目の停留所の浜側には三角形状の理髪店があって、ぼくたちは「三角帳場」とよびならわしていた。その前のゆるやかな坂をくだると、すぐ東側には市場へはいる露路があり、それを通りすぎでくだと、古川書店、都賀写真館などがある。やがて、西側には生田神社の東門があらわれて、森がくろぐろとした緑を天へひらいている。東門を数軒くだった西側のとらや薬局が、伯父の店であり、住まいであった。左どなりは神戸屋パン店、右どなりは洋家具店、むかいは牛肉屋と中国人の理髪店で、そのあいだは穴門になり、くぐると市場がたてこんでいて、夕方になるとどの店からも「買いなはれ、どうや」という呼び声のリフレインがあふれる。

そのあたりは、いまはキャバレーやバーばかりになっているが、そのころにはそんなものは一軒もなかったし、道さえもアスファルトではなく、馬力とよぶ馬車が馬フンを残しながら通っていた。

伯父の店には大きなトラの看板がかかり、それが二階の窓をすっかりふさいでいた。その二階で、ぼくは母がたの祖母と母の独身の姉と寝る。そこにも薬品や脱脂綿が積みあげてあり、いつも薬のにおいをただよわせていた。オキシフル・ヨードチンキ・シロウ・漢方薬がいりまじった、奇妙な、しみつくようなにおいであった。大みそか、寝るのはたいいてい午前一時になった。店をしましてから集金の勘定、店の掃除をし、売り台から薬局、台所までお鏡をかざり、自転車にもしめかざりをする。それから、伯母たちは雑煮の準備、正月料理にかかるといった。

子どもは早く寝かせてもらったが、眠ったかと思うと、ドンパンとパチパチの音でかならず目がさめた。それはトラの看板のしたの表通りからおこる。爆発する。

ドンパンもパチパチも爆竹の一種である。どちらも紅色か真黄の紙の筒だ。ドンパンは大きなローソクのような形をしている。それを地面に立てて、シンにあたるところに火をつけると、ドーンという音といっしょに空めがけてかけあがり、バーンとはじける。そうなるように火薬がつめてあるのだらう。このドンパンには、大小いろいろあって、太いのはサイダーびんほどもある。もつとも、そんなのは値も高く、とても子どもには手が出ず、近所の気前のいいにちゃんたちが打ちあげて見せてくれるのがつねだ。

パチパチもドンパンとおなじロウソク形をしているけれど、うんと小さい。火をつけて投げるとパチッとはじけるだけである。しかしドンパンよりも音はすごい。

パチパチは紙のシンをたばねて一包みになっている。ぼくたちはそれをひとつずつほいては、ひとつずつ鳴らす。が、にちゃんたちはたばのままだに火をつける。すると、一包みがつきつきにはじける。オモチャの軽機関銃の音に似て、鳴りつづける。

そのドンパンとパチパチが表通りで鳴る。ぼくは目をさます。しかし、窓のそとはまっくらだ。寝床のなかでじーっと、爆竹の音を聞く。すると、なぜかワクワクしてくる。表通りにとびだしたくてたまらない。それを石のように辛抱している。そんなに早く起きだしたら、伯父や伯母に叱られるにきまっていたから。

もう、眠ることはできない。ドンパンとパチパチの音はあちこちで鳴りはじめ、その数はどんどんふえる。それでも、いっせいに鳴りやむときがある。すると、経験したことのない淵のような深い静かさがひろがる。

ぼくが爆竹を知ったのは、なにも神戸がはじめてではない。長崎で、とくにその音は知っていた。しかし、長崎ではお盆の夜に鳴らした。家族はみんな墓所に集まり、たんねんに掃除し、ちようちんを飾って灯をいれ、重箱につめたごちそうをひらく。それから、子どもたち



は夜おそくまで爆竹を鳴らして墓所で遊ぶのである。

ところが、正月には爆竹を鳴らした記憶がない。雑煮をたべた思い出もない。それというのも、東京と長崎でのぼくの生活は流浪のようなものだったからだと思う。それで、神戸の母方の実家に引き取られたときは「漂着」という気分になった。

ドンパンが鳴ってからの時間は、おそろしく長いものであった。窓はなかなか、あかるくならない。やがて、生田さんの森のほうで鳥の声がはじまる。窓にはうすあかりがにじみ、急速にひろがっていく。しかし、伯母も祖母も寝入ったまま、なかなか起きてくれそうにもない。ぼくは寢床のなかで、ひとりいらだった。



やっと、みんながおきる。あたらしいパンツとシャツとタビをもらって、からだにつける。それから、雑煮になる。ダイコン、ニンジン、ゴボウ、サトイモをカツオブシの dashi でよく煮たすまし汁に、別にゆがいたモチをいれ、そのうえにサケか塩ブリのちいさな切り身と、別に煮つけたミズナをのせる。母方の実家は瀬戸内海の生口島の出身で、その雑煮は島の習俗らしかった。

おわんにモチを二つ入れる。年の数だけ、モチを食べないと弱ミソといわれた。正月にはいくらモチを食べてもよく、食べたモチの数の多いほど「マメ」であり、「えらいやつ」ということになっていた。それで、ぼくもずいぶんムリをして、年の数だけ平らげるよう努力した。

おかげで食べ終わると身動きができず、やっとの思いで学校の拝賀式に出かけるのだが、昼食も夕食もいっさいヌキであった。

ところが、伯母たちもお手あげになったことがある。イワオという少年店員がいた。背がずんぐり低くて、色が黒い。かれはモチが大好物で、毎年二十個を軽く平らげた。そして、「おくさん、もうありまへんか」という。

それで、その年の正月には、伯母はかれのために三十個のモチを用意した。これなら堪能するだろうと思ったらしい。ところが、イワオはあつというまに三十個を腹におさめ「おくさん、もうおまへんか……」といった。「イワオにはかなわん」

伯母がそののち、伯父にボヤいているのをぼくはふと聞いてしまったのだ。

「イワオは汁も吸わんし、グも食べよらん。モチばっかり食うんや、そやから三十も食べれるんや」

伯母はそうもいっていた。

イワオはモチのつぎに歌が好きであった。なるほど、いい声をしていて、店をしまうときは表通りでしばらく大声で歌う。『甘粕大尉の唄』というのが得意であった。演歌師からおぼえたものらしい。そのころは、生田神社の東門には演歌師が立って、和服、ハカマ姿でバイオリンを引きながら押しつぶした声で歌っていた。歌い終わると楽譜を売る。そして消える。

イワオはよく店をぬけだしては、演歌師を聞きにいった。楽譜もかなり買っていた。そんなふうだったから、ぼくが音痴で唱歌の点があるいと知ると、店番をしながら毎晩教えてくれた。手拍手をとり、イワオにつけてひとふしずつ歌う。

いーまは やまなか

いまははま……

そんな唱歌だった。すると、ふしぎにそのときの唱歌の試験ではうまくうたえた。それをイワオにいうと、ま

っ黒い顔に目じりをさげ、「そうでっしやる、そうでしやる」ひとり合点をくりかえした。

小学校の拝賀式から帰ってくると、そのイワオがかならずドンパンのでっかいのを打ちあげてくれる。給金をはたいて、特大を買うらしかった。そして、ぼくやいとこや近所の子を円陣に集め、そのまんなかで火をつける。「よう見とれよ、よう見とれよ」

イワオはなんとも面白い、円陣の子どもの顔をひとりひとりなめまわすようにして眺め、ゆっくり線香で火をつけた。

バーンと頭上ではじけたとき、イワオはニヤリとひとり笑いをする。それから、口をつむぐが、そのときはもう怒っているようにふきげんになっている。

水雷艇という爆竹が売られたことがある。そのときもイワオはまっさきに買い、子どもたちをかき集めた。ドンパンに長い竹がついているようなものだった。火をつけると、空を火矢のようにとぶ。

そのときは元日の夜であった。東門筋の店屋はみんな戸をしめ、いつもとちがってまっくらであった。

「よう見とれよ、よう見とれよ」

イワオは叫んだ。火をつけた。

水雷艇はシュッといったかと思うと、流星のようなものが夜空をとんで、すぐ消えた。そのときも、イワオはふきげんであった。

ぼくが中学にはいるころ、イワオは店をやめた。日華事変が始まるすこし前、イワオは紙芝居のおっさんになつていてというウワサを聞いた。なにかのはずみに、伯母がそう教えてくれたのである。

その日から、ぼくは紙芝居のおっさんに気をつけるようになった。自転車の上しろに紙芝居のをせて走る人や、露路の人だかりを見ると、イワオではないかと胸がさわいだ。イワオなら、きつとうまい紙芝居屋になっているのにちがいないと信じた。しかし、とうとう一度も会わなかった。

(つづく)





ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを!

## 三恵洋服店

元町4丁目 TEL ㉔ 7290



よろず街 衣縫上處

## 神戸シャツ

大丸前 TEL 33・2168



世界の品々は  
サノへでお選  
びください。



元町2丁目  
㉔ 4707~8



高級紳士服専門店

## 神戸テーラー

さんちかメンズタウン TEL ㉔ 0388

生田区北長狭通2(阪急西口) TEL ㉔ 2817・3173

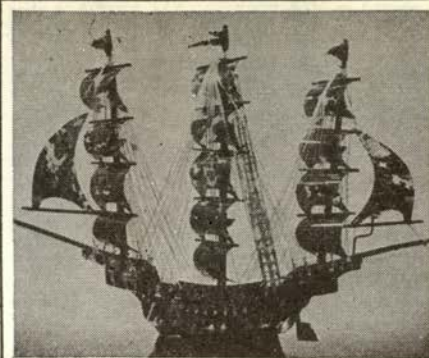


Mr. Kent  
came to Kobe  
流行に左右されない  
本来のオシャレ  
それがKentです  
シックな  
スコッチ風の店舗  
それがFunakiyaです

オシャレ洋品の店

**フナキヤ**

元町3 TEL<33>3617



センスあふれる

べっ甲専門店

**太田 鼈甲店**

元町1丁目 TEL ㊟6195



**大上 鞆 店・いなみ**

元町通1丁目 TEL 33・3962  
さんちかメンズタウン TEL 39・4627



あらゆる体型に  
フィットする  
お誂えシャツ

MEN'S SHOP  
**セゾユウ**

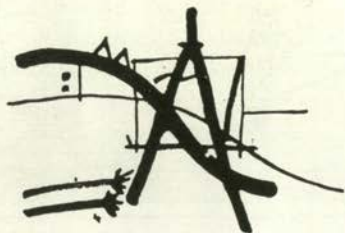
紳士洋品の店

**千穂庵**

元町4 TEL ㊟6959



額縁絵画・洋画材料  
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北  
トア・ロード  
☎1309・6234

創作ハンドバッグ  
工芸品 ORIGINAL

神戸 ■ 元町

ACCESSORIES

イクシマヤ

TEL. (33) 2415・2416

The  
Cosmopolitan  
Valentine F. Morozoff

コスモポリタン  
チョコレート・キャンデー

神戸本社	神戸市生田区三宮町1丁目	電話 33-5304
神戸直売店	神戸市生田区三宮町1丁目	電話 33-1217
大阪堺筋店	大阪市東区淡路町2丁目	電話231-6979
大阪心斎橋店	大阪市南区安堂寺橋通4丁目	電話251-4182
東京銀座店	東京都中央区銀座8丁目	電話571-2303
東京新宿店	東京都新宿区角筈1丁目 新宿ステーションビル地下2階	電話352-2436
東京有楽ビル店	東京都有楽町	電話213-2821
東京国際ビル店	東京都丸ノ内	電話212-3746



長崎堂元町店

長崎堂カステラ  
カフェー・専門店

三笠  
長崎カステラ

ご贈答に風味豊かなカステラ  
長崎堂本店

本店	大橋町5大五ビル	(61) 0553-4
新開地店	松竹座前	(56) 2423
元町店	元町	6 (34) 4130
さんちかスイーツタウン		(39) 3625

神戸っ子のみんなに愛される落ちついた喫茶店

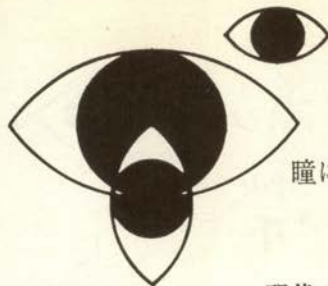


ai

TEA ROOM

喫茶 愛

★神戸・元町本通元一ビル2階 TEL (32) 0958



瞳に美しさを保つ  
スポーツに  
美容に  
現代の科学が生んだ  
コンタクトレンズ

日本コンタクトレンズ協会会員

国際コンタクトレンズ研究所

神戸市蕨合区御幸通八丁目九ノ一 (三宮駅前)  
神戸国際会館内 TEL (22) 8161・(23) 2570

高級きものとおび  
しみぬき・活洗専門



平野

つるや本店

兵庫区神田町125

(家庭裁判所前東1丁)

TEL 6932

あけまして  
おめでとう  
ございます

今年も  
どうぞよろしく



おもちゃの

カメヤ

元町3丁目 33 0090

元町1丁目 33 0768

三宮センター街 33 4969

さんちかタウン 33 4045





金露

色・味・香  
三つ揃った  
灘の生一本  
清酒  
キンロ

■神戸市東灘区魚崎町魚崎356  
金露酒造株式会社



おすし  
てんぷら

栄  
彌

営業時間  
A. M. 11.30~P. M. 9

本店 大丸前・三宮神社東

TEL 5577

(毎週月曜日休み)

支店 さんちか味ののれん街

TEL

5233



洋酒の店

OK

小川 深雪  
阪急西口下京町筋  
TEL <39> 1413



新年  
おめでとう  
ございます

グラムール

生田筋・岸ビル地階 TEL 33-4673

SNACK BAR  
**マゼラン**



生田区加納町4丁目 TEL 39-2366



**CLUB 小万**

生田新道相互タクシー上る

PHONE : 39—0638  
39—4386



洋酒の店 キャンテイ

**Chianti\***

榊 晴夫 TEL(39)3060

213KITANAGASA-DORI IKUTA-KU KOBE



**CLUB Young Bell**

松田 真理子

生田・中山手2丁目89・光ビル1階 TEL 33-3052